総合土木

令和8年 9月1日時点版

岩手県職員募集案内

Iwate Prefectural Staff Recruiting Guide 2026



岩手県
Iwate Prefecture

「やりたい」が見つかる
「やりがい」につながる

県土整備部

技術系職員募集ガイドブック

総合土木

最新の情報は、
岩手県人事委員会事務局の
ホームページで
ご確認ください ▶ ▶ ▶

① 岩手県県土整備部の仕事紹介 ・・・・ 1 ページ
② 先輩職員に聞きました！ ・・・・・・ 8
③ 若手職員に聞きました！ ・・・・・・ 9
④ データで見る岩手県職員 ・・・・・・ 12
⑤ 岩手県職員の働く環境 ・・・・・・・ 13
⑥ 採用試験情報 ・・・・・・・・・・・ 16
⑦ よくある質問 ・・・・・・・・・・・ 18

このガイドブックは、
岩手県県土整備部の
ホームページに
▼ 掲載しています ▼

【岩手県県土整備部 県土整備企画室】

① 岩手県 県土整備部の仕事紹介

岩手県人事委員会事務局HP

● 岩手県 組織概要図

知事をリーダーに、約2万3千人の職員が岩手のために働いています。活躍するフィールドは、岩手県庁内の様々な部署をはじめ、県内全域、日本国内、海外にも広がっています。

知事部局	政策企画部	総合的な政策立案、事業等の評価、知事・副知事の秘書用務、広報等
	総務部	県の仕事全体のとりまとめ、予算、県税徴収、働き方改革等
	復興防災部	災害からの復興に向けた部局横断的な課題への取組、防災対策等
	ふるさと振興部	広域行政の推進、公共交通機関の確保等の地域振興、デジタル化等
	文化スポーツ部	文化芸術活動への支援、世界遺産の保存・活用の推進、スポーツ振興等
	環境生活部	グリーン社会の形成、環境保全、食の安心・安全対策、男女共同参画等
	保健福祉部	健康づくり、医療供給体制確保、障がい者・子ども・高齢者福祉等
	商工労働観光部	商工業・観光振興、就業支援、新事業・技術開発支援等
	農林水産部	農林水産物の生産・加工、流通指導・PR、農地・漁港の整備、森林保全等
	県土整備部	**道路・橋・河川・港湾・公園・下水道等の工事及び維持管理、県営住宅等**
	ＩＬＣ推進局	国際リニアコライダー（ＩＬＣ）の理解促進、情報発信、受入環境整備等
	出納局	事業費の支出審査、会計事務指導、入札等
医療局		県立病院と地域診療センターの整備・運営、医師確保等
企業局		水力・風力・太陽光発電による電気事業、工業団地への工業用水供給事業
教育委員会事務局		学校事務、教育に関する予算・経理・庶務等
公安委員会（警察本部）		犯罪の予防・捜査、交通の取締り、災害警備、警察運営の企画立案、予算、庶務、運転免許事務等
各種行政委員会事務局等		議会事務局、選挙管理委員会事務局、人事委員会事務局、監査委員事務局、労働委員会事務局、収用委員会事務局、海区漁業調整委員会事務局、内水面漁場管理委員会



● 総合土木職の主な配属先

知事部局

県土整備部

道路や橋・河川・港湾・公園・下水道などを作ったり、直したりする仕事です。また県営住宅を建てたり、建物の維持管理を通じて、住み良いまちづくりを進めています。

一般行政　一般事務　**総合土木**　建築　機械　電気

知事部局

農林水産部

農業や林業、水産業が盛んになるよう、生産加工、流通の指導などをしています。また、農林水産物のPRや農地や漁港の整備、森林の保全などに取り組んでいます。

一般行政　一般事務　農学　畜産　林学/林業　水産　**総合土木**

地方公営企業

企業局

水力・風力・太陽光発電による電気事業や、大規模な工業団地への工業用水供給事業を行っています。

一般行政　**総合土木**　機械　電気

● 岩手県 県土整備部の紹介

県土整備部では、東日本大震災津波・台風災害等からの早期復旧や老朽化対策等による国土強靱化の推進、自然減・社会減対策やＧＸ・ＤＸの推進、そして安全・安心を支え、産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備と適切な維持管理等を重点施策として「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げた取組を推進します。

● 県土整備部 重点施策



［岩手県 県土整備部 キャッチコピー］

1　東日本大震災津波からの復旧・復興事業の推進
- ○ 津波防災施設の早期完成

2　台風災害等からの早期復旧と老朽化対策等による国土強靱化の推進
- ○ 台風災害等で被災した施設の早期復旧と改良工事の推進

3　自然減・社会減対策
- ○ 県営住宅ストックを活用した移住・定住の促進や若者の県内定着への支援、快適で魅力あるまちづくりの推進等

4　ＧＸの推進
- ○ ＺＥＨ＋水準を上回る住宅の普及促進や港湾・空港などにおける官民一体となった脱炭素化の推進等

5　ＤＸの推進
- ○ 建設ＤＸの推進等

6　安全・安心を支え、産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備と適切な維持管理等
- ○ 激甚化・頻発化する自然災害に備え、安全・安心を支える社会資本の整備推進
- ○ 物流の効率化や交流人口の拡大など産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備推進
- ○ 社会資本の老朽化対策の推進

① 岩手県 県土整備部の仕事紹介

岩手県人事委員会事務局HP

● 県土整備部 政策項目

1　快適で豊かな暮らしを支える生活環境の整備
- ○ 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり
- ○ 自然と調和した衛生的で快適な生活環境の保全
- ○ 快適で魅力あるまちづくりの推進

2　岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進
- ○ 安心して移住し、活躍できる環境の整備

3　安全・安心を支える社会資本の整備
- ○ ハード対策とソフト施策を組み合わせた防災・減災対策の推進
- ○ 災害に強い道路ネットワークの構築、日常生活を支える安全な道づくりの推進

4　産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備
- ○ 産業振興や交流を支える道路整備
- ○ 港湾の整備と利活用の促進、いわて花巻空港の機能拡充と利活用の促進

5　生活を支える社会資本の良好な維持管理
- ○ 社会資本の適切な維持管理等の推進
- ○ 県民との協働による維持管理の推進
- ○ 建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤の強化

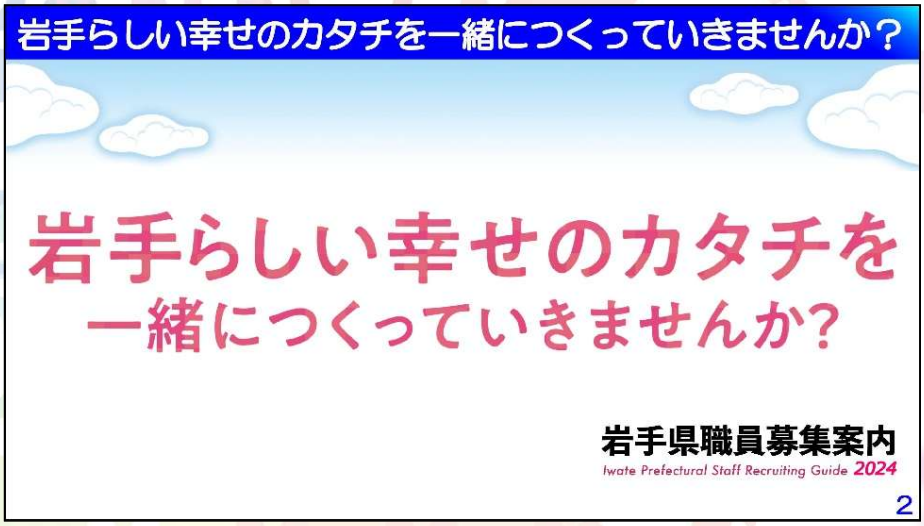
岩手県県土整備部の
▼最新情報はこちらから▼
美しい 県土づくりNEWS





「岩手らしい幸せの形を一緒に作っていきませんか？」

岩手県の総合計画「いわて県民計画 2019～2028」は、「幸せ」をキーワードにしています。





いわて県民計画は、行政だけでなく、企業、関係団体、ＮＰＯなどの多様な主体が、岩手県の将来像を共有し、みんなで行動するためのビジョンとなるものです。

岩手県では、計画の基本目標に掲げる「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向け、人々の暮らしや仕事に着目した施策を実施しています。

復興や医療、教育、産業地域振興など、様々な分野の施策の推進に一緒に取り組んでみませんか。そして、すべての岩手県民と、岩手に関わるすべての人を幸福にできる県にしていきましょう。

① 岩手県 県土整備部の仕事紹介

いわて県民計画（2019～2028）



いわて県民計画の基本目標は、「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」です。

私たち岩手県職員は、この計画の達成に向けて仕事をしています。

総合土木職の仕事は、このうち、政策を推進していく計画の中で「社会基盤」の分野に関する仕事が主なものとなります。

また、復興に関するハード整備などの復興の推進に関する計画や、居住環境に関する分野など、総合土木職の仕事は、多くの計画分野に関連しています。

本日の説明内容

- 総合土木職の主な**業務内容・配属先**
- 県土整備部の**概要・組織**
- **広域振興局**と**主な行政機関**
- 県土整備部の**職員構成**
- 県土整備部の**業務紹介・重点施策・政策項目**
- 岩手県総合土木職**アピールポイント**

5

総合土木職の主な業務内容・配属先

職種区分	主な業務内容	主な配属先
総合土木	【県土整備部関係】 本庁…道路・河川・砂防・海岸保全施設・公園・下水・港湾・空港等の社会資本の整備や維持管理、都市計画、洪水・土砂災害に対するソフト施策、災害復旧事業等を推進するための企画や計画策定、広域調整など。 広域振興局…社会資本の整備や維持管理に直接従事。工事の発注・監督、道路パトロールなど。 企業局…発電施設や工業用水道施設に係る土木施設の整備や維持管理など。 【農林水産部関係】 本庁…農業・農村の発展の基礎となる農業農村整備事業（農地・農業用用排水路の整備、老朽化した農業水利施設の補修等）の企画・調査や農地の保全活動への支援など。 広域振興局…農業農村整備事業の計画、設計、工事発注、施工管理など。	本庁県土整備部、農林水産部、広域振興局土木部・農政（農林）部・水産部・企業局など。

岩手県職員募集案内
Iwate Prefectural Staff Recruiting Guide 2024

6

総合土木職は、県土整備部や農林水産部関係の事業に携わる機会が多くなります。

主に、本庁や、出先の広域振興局の土木部、農政部、水産部、企業局などに配属となることもあり、幅広い分野で業務に当たっています。

県土整備部は、東日本大震災津波からの復旧・復興事業の一日も早い完成と、台風被害からの復旧を含む国土強靱化や人口減少対策、ＤＸの実現などを重点施策として、いわて県民計画の取組を推進しています。

県土整備部のキャッチコピーは、「我が県土 ともに支え育む 希望郷」。

前身の土木部が発足してから79年、県土整備部に組織再編してから24年、これまでさまざまなインフラ整備を積み重ねてきました。

県土整備部の概要

岩手県職員募集案内
Iwate Prefectural Staff Recruiting Guide 2024



県土整備部

1　事業概要

（1）　県土整備部の紹介

東日本大震災津波からの復旧・復興事業の一日も早い完成と、台風等被害からの復旧を含む国土強靱化や人口減少対策、ＧＸ、ＤＸの実現等を重点施策として、「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げた取組を推進します。

- 前身の「土木部」発足から 76年
- 「県土整備部」に組織再編してから 22年



7

① 岩手県 県土整備部の仕事紹介

県土整備部は、本庁に10の部署があります。道路、河川、砂防、都市計画、下水、港湾、空港を担当する課などがあります。
なお、建築職が多く所属している建築住宅課も、県土整備部内にあります。

県土整備部の組織

	室課等名	主な分掌事務
本庁	県土整備企画室	部の**企画・総合調整**、部内の**人事・予算**経理、**用地**事務の企画・指導
	建設技術振興課	**建設業**振興、建設業の許可、建設工事の**技術基準**や**設計積算基準**策定
	道路建設課	**道路**整備の企画調査、高規格道路等の整備促進、県管理道路の**改築**
	道路環境課	**道路**の路線認定・**維持・修繕・管理**、交通安全施設等の整備
	河川課	**流域治水**対策、**河川**及び**海岸**の改良・維持管理、水防活動、**ダム**の整備・維持管理
	砂防災害課	**砂防施設**等整備、**土砂災害防止**対策の推進、公共土木施設の**災害復旧**
	都市計画課	**都市計画**決定、街路・公園・土地区画整理等事業の推進、景観形成
	下水環境課	**下水道**、農業集落排水、浄化槽に係る**汚水処理**の総合的な企画調整
	建築住宅課	**住宅**整備の企画調整、**県営住宅**整備・管理、**建築指導**、公共施設**営繕**
	港湾空港課	**港湾**の整備・管理・利用促進、**空港**の整備・管理
出先	流域下水道事務所	**流域下水道**の整備・維持管理
	花巻空港事務所	**いわて花巻空港**施設の維持管理

8

広域振興局と主な行政機関

県土整備部には
20の
出先事務所が
あります

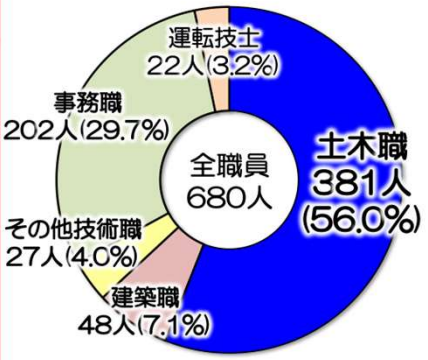


9

県土整備部の出先機関は、北上川上流流域下水道事務所、花巻空港事務所、さらに、広域振興局の土木部、土木センター、ダム管理事務所で、合わせて20機関あります。

県土整備部の職員構成

令和7年4月時点で、県土整備部では、680人の職員が働いています。
本庁に全体の約3割の204人、出先機関に約7割の476人が在籍しています。
総合土木職は、本庁の県土整備部と出先機関を含めて381人おり、部全体の56%を占めています。
ほか、建築職や事務職など、さまざまな職種の職員が力を合わせて業務に当たっています。



令和7年4月時点

勤務地		職員数	割合
本庁		204人	30.1%
広域振興局	盛岡	86人	12.6%
	県南	156人	22.9%
	沿岸	134人	19.7%
	県北	65人	9.6%
流域下水道事務所 花巻空港事務所		35人	5.1%
合計		680人	100%

10

県土整備部の業務紹介

県土整備部

道路や橋・河川・港湾・公園・下水道などを作ったり、直したりする仕事です。また県営住宅を建て、住み良いまちづくりを進めています。

■一般行政／一般事務
■総合土木 ■建築 ■機械 ■電気

11

私たち県土整備部では、道路や橋、河川、港湾、公園、下水道などを作ったり直したりする仕事をしています。
また、県営住宅も所管しており、住みよいまちづくりを進めています。

① 岩手県 県土整備部の仕事紹介

県土整備部の重点施策

① 復興の推進

- 海岸保全施設等の早期完成



【県土整備部の重点施策】

① 東日本大震災からの復興の推進

陸前高田市の高田松原津波復興記念公園は、犠牲者の追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の後世の伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、復興の象徴として整備を進め、令和３年12月に完成しました。

岩手県の復興事業は、現在も続いています。

宮古市の閉伊川の河口では、市街地を津波から守るため、水門を建設しています。

徹底した工程管理、関係機関との連携のもと、事業の進み具合を地元の方々に丁寧に説明しながら、令和８年度の完成を目指して整備を進めています。

県土整備部の重点施策

① 復興の推進

- 海岸保全施設等の早期完成



県土整備部の重点施策

② 防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策の推進

- 台風や大雨で被災した施設の早期復旧と改良工事の推進
- 老朽化対策の推進、安全・安心な地域づくりの推進



② 防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策などの推進

岩手県内では、平成28年の台風第10号、令和元年の台風第19号など、度重なる豪雨に見舞われています。それらの災害などで被災した土木施設の早期復旧と改良工事を進めています。

また、老朽化対策や、安全・安心な地域づくりに取り組んでいます。

③ ＤＸの推進

ＩＣＴ技術の活用により、インフラ分野のＤＸの普及や拡大を進め、誰もが働きやすい建設業の実現に向けた取組を進めています。

④ 安全・安心な地域づくり

県土整備部が担っている道路や橋、河川などのハード整備のほか、情報発信の強化などのソフト施策を効果的に組み合わせ、防災・減災対策を推進しています。

県土整備部の重点施策

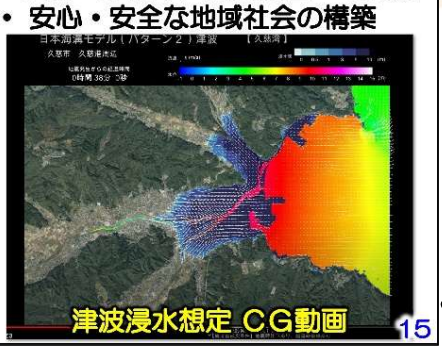
③ ＤＸの推進

- 産業のＤＸ



④ 安全・安心な地域づくり

- 今後起こり得る最大クラスの地震・津波や大規模災害への対応
- 安心・安全な地域社会の構築



① 岩手県 県土整備部の仕事紹介

【県土整備部の政策項目】

① 快適で豊かな暮らしを支える生活環境の整備

　快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくりや、安心して移住し活躍できる環境の整備を進めています。
　また、自然と調和した衛生的で快適な生活環境の保全、快適で魅力あるまちづくりについても推進しています。

県土整備部の政策項目

① 快適で豊かな暮らしを支える生活環境の整備

- 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり
- 自然と調和した衛生的で快適な生活環境の保全
- 快適で魅力あるまちづくりの推進



（リフレッシュ工事）
奥州市 県営内匠田アパート



二戸市 都市計画道路 岩谷橋

県土整備部の政策項目

② 安全・安心を支える社会資本の整備

- 災害に強い道路ネットワークの構築
- ハード対策とソフト施策を組み合わせた防災・減災対策の推進
- 日常生活を支える安全な道づくりの推進
- 国道107号大石地区（西和賀町）地すべり災害への対応



矢巾町･盛岡市 徳田橋



（トンネル工事）
西和賀町 国道107号 大石地区

② 安全・安心を支える社会資本の整備

　災害に強い道路ネットワークの構築や、ハード対策とソフト施策を組み合わせた防災･減災対策、日常生活を支える安全な道づくりなどを進めています。

県土整備部の政策項目

③ 産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備

- 産業振興や交流を支える道路整備
- 港湾の整備と利活用の促進、いわて花巻空港の機能拡充と利活用の促進



（令和5年8月）
宮古港 MSCベリッシマ寄港



（滑走路舗装改良工事）
いわて花巻空港

③ 産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備

　産業振興や交流を支える道路整備、港湾の整備と利活用のほか、いわて花巻空港の機能拡充などについても進めています。

県土整備部の政策項目

④ 生活を支える社会資本の良好な維持管理

- 社会資本の適切な維持管理等の推進
- 建設業の労働環境の整備、技術力･生産性の向上、担い手の育成・確保



県管理道路の除雪



橋梁の点検（高校生と協力した取組）

④ 生活を支える社会資本の良好な維持管理

　社会資本の適切な維持管理を進めるほか、建設業の労働環境の整備、技術力・生産性の向上や、高齢化が進んでいることを踏まえ、担い手の育成確保に取り組んでいます。

① 岩手県 県土整備部の仕事紹介



【岩手県総合土木職のアピールポイント】

① デジタル技術で事業や業務の効率化を図っています。ドローンや、遠隔で現場の様子を把握できるウェアラブルカメラなど、できるところから取り組んでいます。

② 岩手県では、東日本大震災津波からの復旧・復興事業を経験してきました。事業は、これまでに比べて大きなものが多く、経験したノウハウを生かして、復興後の事業にも取り組んでいます。

③ 社会基盤の整備に関して、
全体的にコーディネートしています。

社会基盤整備においては、まず、事業を企画し、計画立案や調査を進め、どんなものを建設するか設計します。ここは主に建設関係のコンサルタント会社に発注して担ってもらっています。その後、設計された形状に合わせて必要となる用地を取得し、建設工事の段階に移ります。工事完成後も引き続きそれらを維持管理していく必要があり、これらは主に建設会社に発注しています。

岩手県職員は、以上の一連の社会基盤整備にかかることをトータルで進めるコーディネーター的な役割を担い、事業をデザインすることができます。
想いを形に、地域を元気にするため、広い視野に立って業務に取り組んでいます。





総合土木職の仕事は、県の各分野の取組を支えています。

現場での仕事も多く、身近な県民のみなさんの声を聞き、さまざまな方から協力いただきながら業務を進めています。
自分が担当した工事が完成したときは、大きな達成感を得られ、働きがいを感じる瞬間でもあります。

昨今は災害が相次いでおり、また、橋や構造物などのインフラ施設の老朽化といった問題も大きな課題となっています。
今後は、防災・減災、国土強靱化の取組、安全・安心な社会基盤を整備していくことが、県土整備部の仕事の中心になります。

災害などに負けない県土づくりのために、みなさんのお力を。お待ちしております。

② 先輩職員に聞きました！

岩手県人事委員会事務局HP



総合土木

県南広域振興局土木部
遠野土木センター

佐藤 優聖

Sato Yusei

平成29年度採用

● 採用から現在までの所属

平成29年度～	県土整備部河川課　技師
令和元年度～	沿岸広域振興局土木部 復興まちづくり課　技師
令和５年度～	県南広域振興局土木部 遠野土木センター 道路河川整備課　技師

● とある１日のスケジュール

8:15	出勤、メール確認等
8:40	道路パトロール
12:00	昼休憩
13:00	受注者等との打合せ
14:00	提出資料の確認や照会等に関する対応業務
15:00	工事積算業務
17:30	退庁

● 仕事内容

現在は、遠野管内に位置する国道や県道等の道路の維持管理や橋梁の補修・耐震補強事業等の監督業務を担当しているほか、令和５年豪雨及び令和６年台風第10号等の災害復旧工事の監督業務も行っています。

初任地（河川課在籍時）では、県内の河川整備事業推進のための進捗管理や予算管理（主に施設整備によるハード対策）のほか、水位周知河川の指定や河川監視カメラ等の設置（いわゆるソフト対策）を行うなど河川事業全般の仕事を実施し、沿岸広域振興局在籍時は東日本大震災からの震災復興事業である津波水門や防潮堤の整備、令和元年東日本台風に係る砂防施設の整備を行うなど、各年、異なる分野で仕事をしてきたことが大きな違いです。

● 県職員を志望した理由を教えてください。

生まれ育った岩手の雰囲気がすごく好きで、何か岩手で仕事はできないかと考えていたところに、県職員という仕事を見つけました。人事異動を伴う職種であり、色々と大変な面もありますが、様々な仕事や人との出会い、つながりがあり、飽き性の私にはまさに天職だなと感じ、志望しました。

● 県職員になる前に身につけておいた方が良いと思うことを教えてください。

物事を俯瞰してみる力を養うことが大切だと思います。広い視野を持つことで、様々な問題や状況を多角的に理解できますので、他人の意見をたくさん聞き、自分では気づけない考え方や相手の感情等を感じとる機会を増やすことで、自然と身につくかと思います。

● 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

当たり前のように身近に存在しているインフラ設備（道路や橋梁等）ですが、これらの維持管理や整備なくして、県民の方々の当たり前の生活がつくれないということを意識したときに、この仕事への責任を感じるのと同時にやりがいや魅力を感じました。

● 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

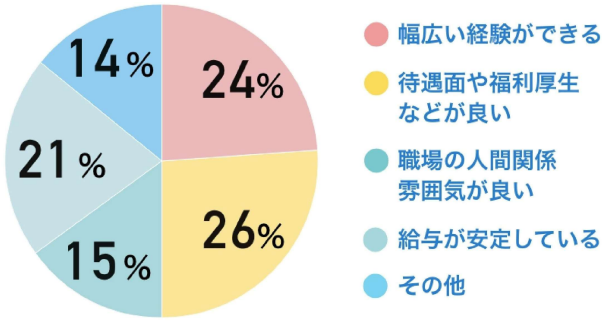
岩手を少しでも良くしたいという気持ちを持っているそこのあなた、ぜひ一緒に働きましょう！

③ 若手職員に聞きました！

令和５～７年度採用の職員295名に対してアンケートを行いました！
（総合土木職採用以外の職員の回答も含みます）

岩手県人事委員会事務局HP

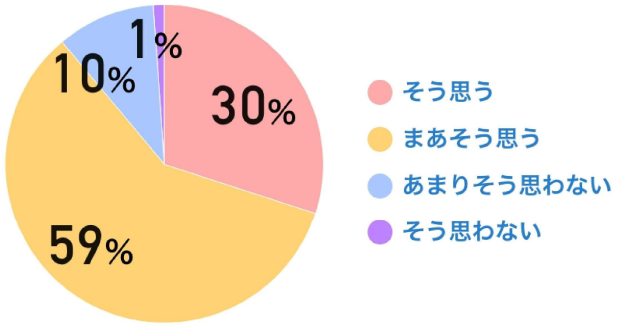
Q. 岩手県職員の一番の魅力は何ですか？



A. 福利厚生が民間企業よりも整っています。特に子育てを始めて強く実感しています。様々な業務を経験できるため、できることだけを選んでやっていては気づけない自分の可能性にも気づけます。

A. 前職は専門職に近いため限られた範囲での仕事がほとんどだったが、県職員は組織や事業の規模が大きいため専門職であっても通ずる部分があったり、人や企業とのつながりを感じたりする場面が多いです。【転職者】

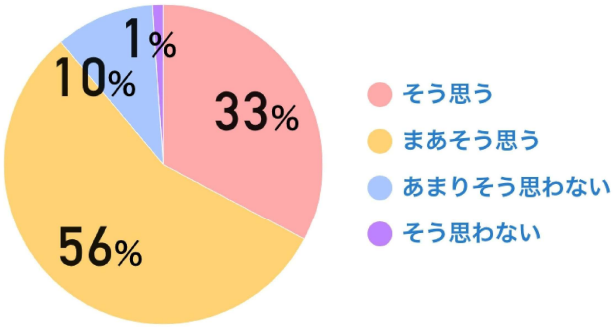
Q. 岩手県職員になって良かったですか？



A. 採用１年目から大きな仕事を担当させていただくことがあり、その分責任も伴いますが、非常にやりがいを感じています。また、休暇も取りやすいため働きやすい環境だと思います。

A. 前職と比較しても、業務内容、職場環境、福利厚生、そして地域への貢献度など、いずれの点においても岩手県職員としての現在の職務は非常に満足度が高く、県職員となって本当によかったと実感しています。【転職者】

Q. 自身の成長が望める職場だと思いますか？

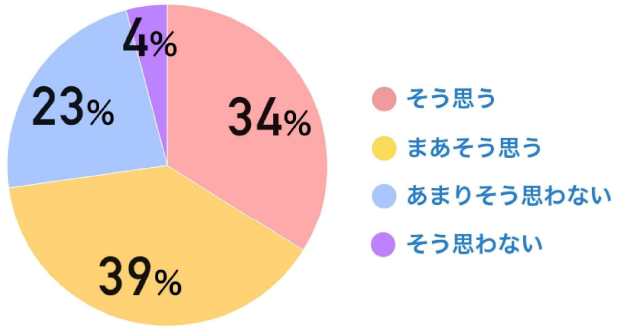


A. 様々な業務が経験できるので、経験を通じてかなり成長できると思います。各種研修制度も充実しているため、自分自身の能力の向上にも期待できると思います。

A. 他研究機関の方と関わる機会もあり、自分の意欲次第で成長を望めます。【転職者】

A. 日々覚えることは多いのですが、経験豊富な先輩と上司がサポートしてくださるので安心して取り組めています。できることが増えるのは嬉しく感じます。【転職者】

Q. 入庁前後で県職員に対するギャップはありましたか？



A. ずっとデスクワークや中での仕事をしているイメージがあったが、内容によっては出張等が多く、仕事内容の幅広さにギャップを感じました。

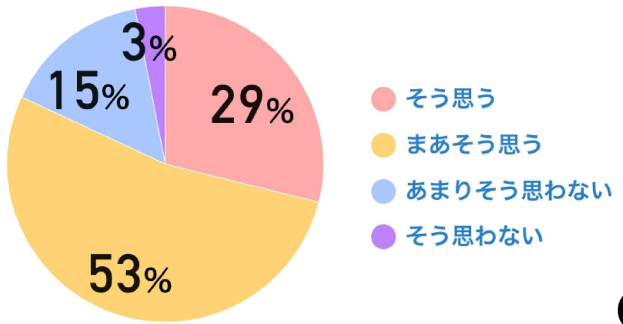
A. 思ったよりも固い雰囲気じゃなく、職員間のコミュニケーションも多いと感じました。

A. 業務が立て込んでいるときに担当外の業務でも先輩方が一部業務を請け負ってくれるなど、協力して業務できている印象です。【転職者】

Q. やりがいを感じる仕事ですか？

A. 県民のためにやっていると肌で感じる職業で、上手くいった時のやりがいはとても大きいと感じます。

A. 前職の経験を活かしつつ、真に顧客と向き合えているという実感があり、やりがいを感じています。【転職者】



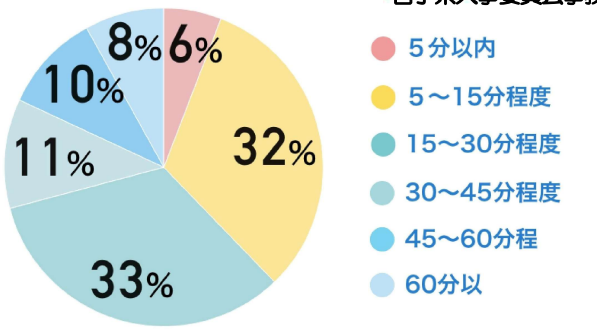
③ 若手職員に聞きました！

令和５～７年度採用の職員295名に対してアンケートを行いました！
（総合土木職採用以外の職員の回答も含みます）

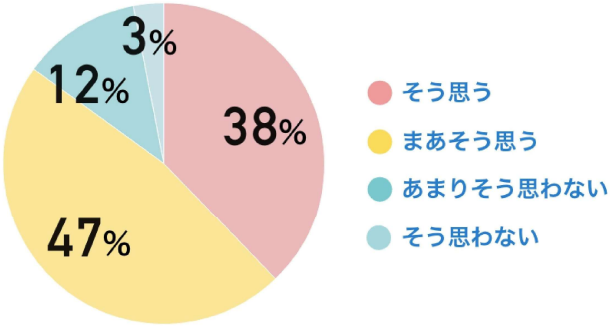
岩手県人事委員会事務局HP

Q. 通勤時間を教えてください

〈集計結果〉
約７割が30分以内と回答しました。
通勤手段が徒歩で通勤時間は５～15分以内と答えた職員の割合が一番高いです。



Q. 初任地や仕事内容に満足していますか？



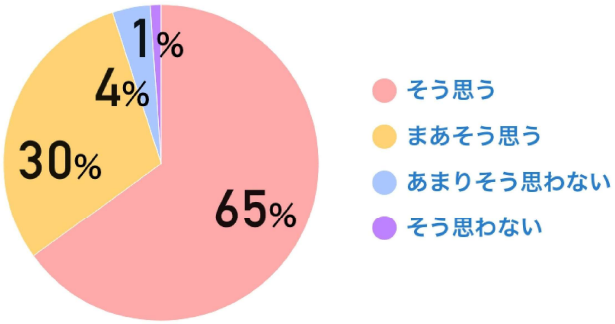
A. 希望した勤務地かつ規模の大きな仕事を任されることがあり、やりがいを感じています。

A. 希望した業務ではなかったが、これまで触れることのほとんどない分野について知識などが得られて、面白い。

A. 前職のスキルを活かせる職場に配属してもらい、大変ありがたいと思っています。【転職者】

A. 希望した分野ではありませんでしたが、子育てしやすい環境に配慮いただき大変うれしいです。【転職者】

Q. 休暇を取得しやすい環境ですか？

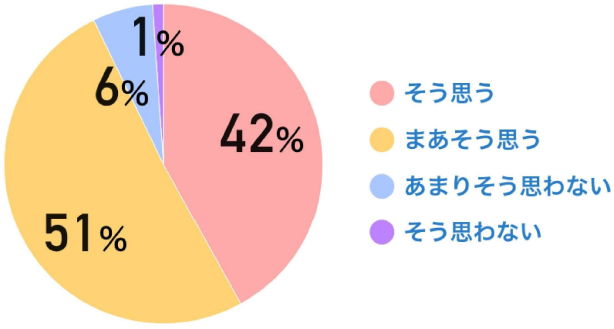


A. １時間単位で休暇を取得できるほか、１週間程度の長期休暇をとるときは、職場内で仕事を融通したりしあえる環境になっています。

A. 急な予定が入った際もすぐに取得できるので、いい環境だと思います。

A. １時間単位で休みをとれるし、採用すぐから休みを取っても問題ない雰囲気がちゃんとあります。旅行に行ったり、少し早く退勤して友人と食事に行ったり、好きな時間を好きに作れます。【転職者】

Q. 職場は相談しやすい雰囲気ですか？



A. 新採用職員ということで、所属長との面談が定期的に行われており、相談の機会が十分に設けられていると感じます。今の職場では誰に質問をしても嫌な顔一つせず丁寧に教えてくれます。

A. 上司が積極的に会話してくれるため、早くから職場になじむことができました。全体的な雰囲気も穏やかで相談できる環境が整っています。特に体調不良時に積極的に休むことを進めてくれるのはとても心が楽になるため、ありがたいです。【転職者】

岩手県職員を目指す方にメッセージをお願いします

A. 職場の先輩は相談しやすい方ばかりで、不安なく学び、スキルアップしていけるところが大きな魅力の１つだと思います。一緒に岩手県で働きませんか?【Ｉ種技術系Ａ職種】

A. 試験勉強もあるとは思いますが、学校行事を精一杯楽しみ一生の思い出を作ってください。岩手県職員として一緒に岩手を盛り上げ、世界に通用する岩手を目指しましょう！！【Ⅲ種技術系職種】

A. 様々な選択がある中で、皆さんなりに考えて比較した上で、最終的に岩手県職員を選んでくださったら嬉しいです。試験や面接当日は緊張すると思いますが、最後は今まで頑張ってきた自分が背中を押してくれると思います。皆さんがそれぞれ納得のいく形で就職活動を終えることができるよう、応援しています。【Ｉ種一般行政Ａ】

A. アピール試験型採用は働きながらでも取り組みやすいので、気軽に挑戦してみるのもよいと思います。【Ｉ種Ｂ職種】【転職者】

A. 様々な職業があり、岩手県職員はあくまでそのひとつであり、企業研究等を十分に行い、自分のキャリア形成（私生活も含め）プランを描いてほしい。そのうえで岩手県職員が選択肢のひとつとなることを願っています。【Ｉ種Ｂ職種】【転職者】

A. 今楽しいことを全力でやるという経験をすると、働き始めてからもワークライフバランスを取りやすいと思います。楽しむ時間を確保することを忘れないでください。【Ⅱ種一般事務】

A. 自分が働いている姿をイメージすると、試験勉強のモチベーションにつながると思います。【Ⅲ種一般事務】

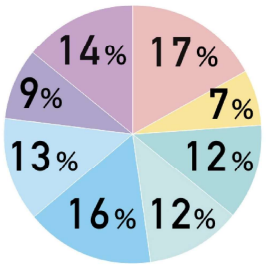
③ 若手職員に聞きました！

令和５～７年度採用の職員に対してアンケートを行いました！
（総合土木職採用以外の職員の回答も含みます）

岩手県人事委員会事務局HP

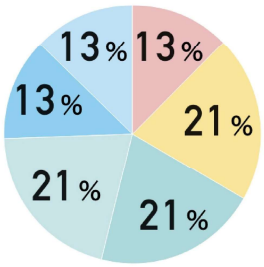
Ⅰ種（技術系職種）

志望時期



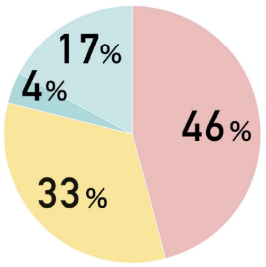
- 高校生以前
- 大学１年生
- 大学２年生
- 大学３年生（４～９月）
- 大学３年生（10～３月）
- 大学４年生
- 大学院進学後
- 就職後

試験対策期間



- １カ月半未満
- １カ月半～3カ月程度
- ３～６カ月程度
- ６～９カ月程度
- ９～12カ月程度
- 12カ月以上

平均対策時間/１日



- １時間程度
- ２～３時間程度
- ４～５時間程度
- ６時間以上

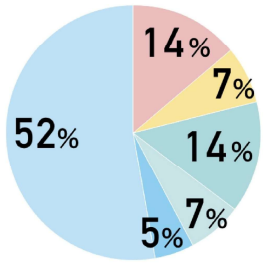
Q. 試験対策のコツ、アドバイスがあったら教えてください

A. 苦手な部分を克服するよりも得意な部分で確実に点を取れるようにしておくといいと思います。

A. 岩手県全体の基本情報を知りたいとき、まずは県民計画から目を通してどういったビジョンを持っているのか、自分の考えに会うかどうか確認するところから始めた方がよいと思います。【転職者】

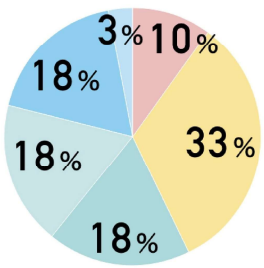
Ⅰ種（B職種）

志望時期



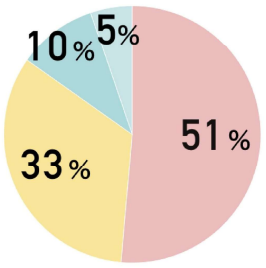
- 高校生以前
- 大学２年生
- 大学３年生（４～９月）
- 大学３年生（10～３月）
- 大学４年生、大学院進学後
- 就職後

試験対策期間



- １カ月半未満
- １カ月半～３カ月程度
- ３～６カ月程度
- ６～９カ月程度
- ９～12カ月程度
- 12カ月以上

平均対策時間/１日



- １時間程度
- ２～３時間程度
- ４～５時間程度
- ６時間以上

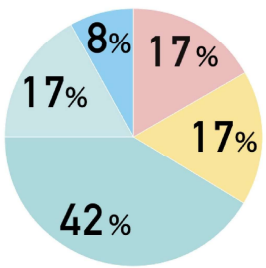
Q. 試験対策のコツ、アドバイスがあったら教えてください

A. 県民計画などに目を通し、岩手県の政策について多く情報を集めておくことが重要だと思います。

A. 岩手県の課題がなぜ起きているのか、県がそれに対してどのような対策をしているのか、その対策は効果があるのか、他県の対策を調べるなどして自分の中で考えを持っているといいと思います。また、課題に対する基本的な情報も調べておくといいと思います。【転職者】

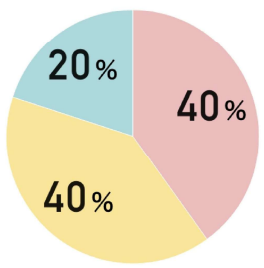
Ⅲ種（技術系職種）

志望時期



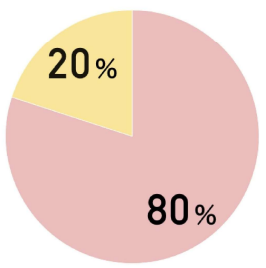
- 中学生以前
- 高校１年生
- 高校２年生
- 高校３年生
- 就職後

試験対策期間



- １カ月半～３カ月程度
- ３～６カ月程度
- 12カ月以上

平均対策時間/１日



- ２～３時間程度
- ４～５時間程度

Q. 試験対策のコツ、アドバイスがあったら教えてください

A. 自ら岩手県の政策について調べておくと良いと思います。

A. 情報はあればあるほど選択肢が広がると思いますし、先生や詳しい人にたくさんアドバイスをもらうと良いと思います。

④ データで見る岩手県職員

岩手県職員について、数字に表してご紹介します！
（総合土木職を含む岩手県職員全体のデータです）

岩手県人事委員会事務局HP

職員数

（令和7年4月1日現在）

一般行政部門 4,210名
全体（病院・学校等を含む） 23,286名

平均年齢

一般行政職（令和7年4月1日現在）

一般行政職 42.5歳

平均給与月額

一般行政職（令和7年4月1日現在）
（期末・勤勉手当（ボーナス）は除く）

一般行政職 399,542円

平均年次休暇取得日数

知事部局（令和6年度実績）

15.0日

入庁3年間の離職率

知事部局 令和4年4月採用者
（令和7年10月1日現在）

8.30%

月間平均超過勤務時間数

（令和6年度実績）

15.0時間

男女比

全職員（令和7年4月実績）

男性 57.4%
女性 42.6%

育児休業取得率

知事部局（令和6年度実績）

男性 98.7%
女性 100%

出身地

知事部局（令和7年10月1日現在）



県内 85%
県外 15%

職員の経歴

令和7年度採用者
（※職歴のある者は全て転職に含めています）



院卒 5%
大卒 50%
高専・短大卒 5%
高卒 11%
転職 29%

年齢別職員構成

全職員（令和7年4月1日）



～23歳 5%
24～31歳 19%
32～39歳 15%
40～47歳 18%
48～55歳 24%
56歳～ 19%

勤務地割合（技術系職種）

知事部局全体（令和7年10月1日現在）



県央 43%
県南 27%
沿岸 18%
県北 11%
県外 1%

⑤ 岩手県職員の働く環境

岩手県人事委員会事務局HP

待遇と勤務［県職員を支える充実のバックアップ体制］

● 初任給、その他の手当等（令和8年4月1日現在）

区　分	新卒者初任給 (※)	前 年 比
Ⅰ種（大卒程度）	239,300円	12,000円UP
Ⅱ種(短大卒程度)	224,100円	（R8新設）
Ⅲ種（高卒程度）	208,000円	12,200円UP

＜ 諸手当 ＞

採用された職員や勤務の状況に応じて、扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当（6月と12月）などの諸手当が支給されます。

※ 採用前の学歴・経験に応じて、一定の基準により加算されることがあります。

期末・勤勉手当	支給割合（標準モデル）
6月	2.325 か月
12月	2.325 か月
合計	4.65 か月

● 勤務時間等

- ◆ 勤務時間： 8:30～17:15 （休憩 12:00～13:00）　※ 30分の繰り上げ下げが可能。
- ◆ 休日： 土曜、日曜、祝日、年末年始（完全週休２日制）が基本
- ◆ 主な休暇：

年次休暇	年間20日　※ 採用年は15日（４月採用の場合）　※ 時間単位で取得可能
病気休暇	３か月以内　※ 生活習慣病などは６か月以内
夏季休暇	５日間（６月から10月まで）
結婚休暇	７日以内

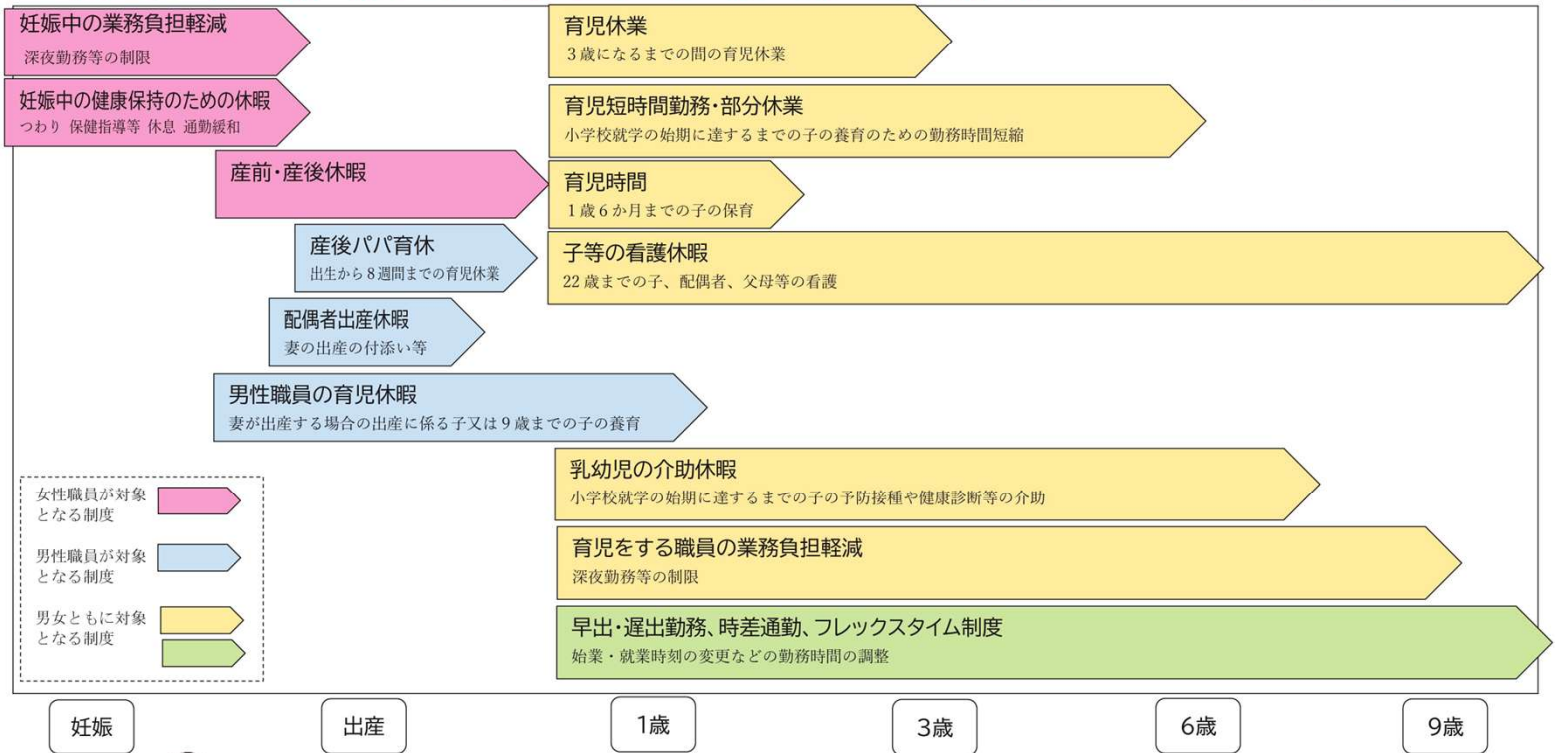
平均取得日数 15.0日
（令和６年度 知事部局実績）

● 出産・育児等に関する主な休暇、休業等

育児休業（男女）	子が３歳になるまで
産前休暇（女性）	産前６週間
産後休暇（女性）	産後８週間
配偶者出産休暇（男性）	入院の日から出産後２週間以内に３日以内
産後パパ育休（男性）	産後８週間までに２回
男性職員の育児休暇（男性）	出産予定日の６週間前から出産後１年までに５日以内
保育時間（男女）	子が１歳半まで１日２回、各１時間
子等の看護休暇（男女）	22歳までの子、配偶者、父母の看護等をする場合、年間５日以内　※ 時間単位で取得可能

取得率 女性 100%
男性 98.7%
（令和６年度 知事部局実績）

仕事と家庭の両立のための制度 ～子育て～



⑤ 岩手県職員の働く環境

岩手県人事委員会事務局HP

● 配属・異動・昇任

◆ **配属：** 採用直後の配属先は、勤務地・部署などの希望や、適性、家庭状況などで決定します。

配属割合

（採用直後）	本庁	出先機関
技術系職種	約２割	約８割

（全体）	県央	県南	沿岸	県北	県外
技術系職種	43%	27%	18%	11%	1%

（総合土木職以外の職員も含みます）

◆ **異動：** 異動サイクルは概ね３～５年です。
経験や適性のほか、健康や家庭事情にも配慮して決定します。
若手職員は育成と適性把握のため、複数の分野の業務や勤務地を経験させる場合が多いです。
新採用職員の場合、初任地で３～４年経た後、異なる勤務地に配属されることが多いです。

◆ **昇任の流れ（Ｉ種試験採用行政職職員のモデル例）：**

（令和８年４月１日時点）

技師	主任	主査	主任主査	担当課長	総括課長	副部長	部長
年齢 25歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳		
年間給与 約410万円	約520万円	約630万円	約660万円	約750万円	約860万円	約1,020万円	約1,180万円

※ 年間給与は、役職ごとに、役職・年齢が合致する職員が最も多く在籍している級・号を算定の基礎として算出しています。

総合土木

土木

▶キャリア

新人 新採用 1年目	若手 技師 2～10年目程度（20～30代前半）	中堅 主任 10～15年目程度（30代中盤～）	サブリーダー 主査 15～20年目程度（30代後半～）	グループリーダー 主任主査 20～25年目程度（40代中盤～）	管理監督者 担当課長～ 25年目以降（40代後半～）
主な配置先：県土整備部各室課、広域振興局土木部（各土木センター）、花巻空港事務所、北上川上流流域下水道事務所　等					
県職員としての土台づくり。知識経験をしっかり吸収。	様々な分野を経験。実務の中核として活躍。	視野を広げながら担当業務を推進。後輩もフォロー。	幅広い視野で業務を推進。チームの要として活躍。	チームを引っ張り、県の政策・施策を立案。	豊富な知識・経験で組織をマネジメント。

▶必要な知識・能力・役割

・土木構造物等の調査・設計に関する基礎知識 ・工事積算に関する基礎知識及び技術 ・土木施工・安全管理に関する基礎知識 ・公共土木施設管理に関する基礎知識及び基本的な対応力 ・公共事業制度に関する知識 ・関係法令に関する知識 ・災害対応等に関する基礎知識及び基本的な対応力	・中堅技術者として必要な知識・能力に関する高等・専門知識及び実践的な対応力 ・許認可事務に関する技術的事項の審査対応能力 ・工事検査に関する専門的知識		・土木技術企画立案力 ・建設業振興施策に関する知識及び業界団体等との調整能力	・管理監督職として所属職員や事務事業をマネジメントする能力 ・これまでに培ってきた専門分野の知識・経験等を踏まえた高度な能力（説明・交渉・調整力、判断力、指導力、分析力）の発揮 ・人材育成能力

若手職員の配置
必要な技術・知識の習得と適性把握のため、複数の分野（道路、河川、砂防、港湾等）を経験できるよう配置。本人の意向や業務遂行能力、適性等を考慮し配置を決定。

▶職員育成（主な研修）

- 県土整備部管理・予算経理事務担当者研修会
- 県土整備部新採用職員研修
- 新採用職員研修
- 積算演習等研修
- 土木材料研修（２年目）
- 道路計画・河川砂防計画研修（３年目）
- 一般構造物研修（４年目）
- CAD操作研修（初～中級）
- CAD操作研修（中級～応用）
- 積算システム操作研修
- 積算審査能力向上研修
- ＯＪＴ指導者研修
- 基礎技術講習会
- ＤＸ基礎技術講習会
- ＩＣＴ、ＵＡＶ基礎技術講習会
- 被災宅地危険度判定士講習会
- 工事安全管理研修
- 工事検査研修
- 【外部】派遣研修（国土交通省、全国建設技術協会、公益財団法人土木技術振興協会　等）

育成方針：職場を離れて受講する研修（Off-JT）に加え、日常の仕事を通じた上司・先輩からの指導（OJT）や自主的な学習・研鑽（自己啓発）を組み合わせて育成

注１：各職位の目安（○年目）は大卒程度を想定したものです。　注２：研修のうち太い枠線のあるもの（着色されているもの）は必修研修であることを表しています。

⑥ 岩手県職員の働く環境

岩手県人事委員会事務局HP

● 働き方改革の推進

◆ 定時退庁・休暇取得促進の取組：

か・えるの日	毎週水曜日
育児の日	毎月19日
長期休暇取得促進週間	年４回（ゴールデンウイーク、お盆、秋休み、年末年始）

◆ 在宅勤務： 基本的に週１日以内実施可能
※ 全職員対象（業務の性質上認められない場合もあります）
※ 特定の条件を満たす場合は、週１日を超える実施が認められる場合があります。

◆ フレックスタイム： １週間当たり38時間45分の範囲で１日の勤務時間を任意に設定できます。
週休３日も可能です。※ コアタイムあり（午前10時～午後３時（休憩時間を除く））

◆ ＤＸ： 業務用パソコンのノート型化や庁外からアクセスできるシステムの構築など、
業務のオンライン化、ペーパーレス化を進めています。

研修制度［ 能力を高めるスキルアップ制度 ］

◆ 新採用職員研修： 採用年の４、７、10月頃に実施します。
県職員としての意識の確立を図り、
執務に必要な基礎知識や技能を習得します。



◆ その他の基本研修：

採用３年目職員研修	採用３年目
中堅職員研修	採用５年目、９年目
新任研修	昇任の都度

◆ 職場研修（ＯＪＴ）： 所属ごとの多用な職場環境や業務に慣れるため、新採用職員１人に
１人指導担当者を定め、日々の業務で指導や助言を行います。

◆ 選択研修： 政策法務、交渉力向上、ファシリテーションスキルなど（本人の希望に応じて受講可）

◆ 派遣研修： 自治大学校（東京都）や東北自治研修所（宮城県）への派遣研修、
国の省庁への派遣（実務研修）等のほか、県内市町村への派遣（人事交流）もあります。

◆ 自己啓発支援制度： 能力向上を図るため、職員の自己啓発経費の1/2（上限あり）を支援する制度
… 民間の教育機関が提供する通信講座の受講、政策形成能力を養成する大学院（修士課程）への
修学支援のほか、土木施工管理技士などの専門性を高める資格の取得を支援しています。

福利厚生［ 職務に専念するための多彩なサポート ］

◆ 岩手県職員互助会： キャリアアップ支援交付金、育児支援交付金、会員療養給付金 など、
さまざまな給付事業を行っています。







◆ 県庁内保育施設（うちまる保育園）：
０歳児から２歳児を対象とした県庁内保育施設を
開設しています。都道府県職員の事業所内保育施設
では、東北初の認可保育施設で、保育園に通いながら
母乳育児を可能とするなど、特徴のある保育施設です。

◆ 職員公舎： 世帯用、単身赴任者用、独身者用の公舎が、
県内各地区に整備されています。　※ 部屋の広さ等は、公舎によって異なります。





◂ 中里合同公舎
（世帯用、一関市）
公舎料 月22,200円※

※ 上記料金は参考です。
実際の公舎料は、
築年数や広さ等に
よって異なります。

⑥ 採用試験情報

令和８年度 職員採用試験の概要（採用予定：令和９年４月）

試験種類		Ⅰ種アピール試験型【B職種】 【春試験】	Ⅰ種アピール試験型【B職種】 【秋試験】	Ⅰ種専門試験型 【A職種】	Ⅱ種（R8新設） 総合土木	Ⅲ種 総合土木
試験概要	試験の難易度	大卒程度 教養試験はSPI3 公務員試験対策をしていない民間志望の新卒者や社会人等向け		大卒程度 公務員試験対策をしている新卒者等向け	短大卒程度	高卒程度
	主な受験資格 ※Ⅰ種試験は併願可	21歳以上45歳未満	・21歳以上45歳未満 ・**大学3年生**	21歳以上35歳未満	19歳以上 35歳未満	17歳以上 21歳未満 （大卒（見込）者を除く）
	採用予定者数	**20人程度**	**25人程度**	**10人程度**	**10人程度**	**10人程度**
スケジュール	① 受験案内配布	2月6日	8月3日	4月1日		
	② 受験申込	3月1日～17日 （アピールシート提出）	9月1日～14日 （アピールシート提出）	4月20日～5月14日		7月1日～8月5日
	③ 第１次試験	4月2日～15日 （日時は受験者が選択）	10月1日～12日 （日時は受験者が選択）	6月21日		9月27日
	合格発表	4月24日	10月20日	6月26日		10月2日
	④ 第２次試験 ※いずれか１日	5月14日～24日	11月4日～19日	7月8日～22日	8月3日～5日	10月19日～27日
	⑤ 最終合格発表	5月29日	11月27日	7月31日	8月21日	11月6日

＜過去の採用試験実施状況＞

試験種類	Ⅰ種アピール試験型【B職種】 【春試験】			Ⅰ種アピール試験型【B職種】 【秋試験】			Ⅰ種専門試験型 【A職種】			Ⅲ種 【総合土木】		
年度	R5	R6	**R7**	R5	R6	**R7**	R5	R6	**R7**	R5	R6	**R7**
採用予定数	若干人	10	**10**	若干人	3	**5**	11	13	**13**	2	3	**5**
申込者数	6	12	**9**	1	4	**3**	14	11	**10**	7	7	**9**
受験者数	4	11	**9**	1	3	**2**	11	5	**5**	5	7	**9**
1次試験合格者数	3	9	**6**	0	3	**0**	10	5	**4**	5	7	**6**
最終合格者数	1	7	**6**	－	2	**－**	5	3	**4**	4	5	**6**
倍率	4.0	1.6	**1.5**	－	1.5	**－**	2.2	1.7	**1.3**	1.3	1.4	**1.5**

＜合格から採用まで＞

- 最終合格者は採用候補者名簿(確定日から原則1年間有効)に記載され、各任命権者は採用候補者名簿の中から採用者を決定します。
  ※ 辞退者数、情勢の変化による採用予定者数の変動などにより、採用候補者名簿に記載されても内定に至らない場合もあります。
- 内定通知日の目安:
  - Ⅰ種　新卒者：最終合格発表から約1週間で内定の意向確認の通知を送付。10月1日付けで内定。
    既卒者：最終合格発表から1週間以内を目安に内定。
  - Ⅱ、Ⅲ種　最終合格発表から1週間前後を目安に内定。
- 4月1日付け採用の場合、3月中旬頃に配属先をお知らせします。

⑥ 採用試験情報

岩手県人事委員会事務局HP

令和８年度 職員採用試験の概要（採用予定：令和９年４月）

職種区分	試験	試験方法		内容	配点
Ⅰ種 アピール 試験型	1次試験	アピールシート （論文試験）	事前 提出	申込時に提出されたアピールシートにより、知識や資格、能力、職務経験、職種に応じた識見、表現力、判断力、思考力 等を確認する試験	150
		教養試験 （SPI3基礎能力検査）		⑴ 基礎能力検査：テストセンター（リアル会場またはオンライン会場）で受検	100
				⑵ 性格検査（配点なし）：自宅等のパソコン、スマートフォンから受検 結果は第2次試験の参考資料として使用	―
	2次試験	人物試験 専門試験	40分	適性と専門性を見るための個別面接（冒頭5分で専門性確認シートに基づく自己アピールを行い、その内容を踏まえた面接）	人物試験 500 専門試験 300
					総合得点：1,050
Ⅰ種 専門 試験型	1次試験	教養試験	120分	公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験 （50題中40題の選択解答制）	200
		専門試験	120分	専門的知識等についての筆記試験（50題中40題の選択解答制） （数学・物理・情報、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画ほか）	300
		ヒアリングシート	20分	提示されるテーマについて自分の考えを記述	―
	2次試験	人物試験		適性などを見るための個別面接（1日に2回実施）、適性検査	650
					総合得点：1,150
Ⅱ種	1次試験	教養試験	120分	公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験 （50題中40題の選択解答制）	200
	2次試験	人物試験	40分	適性と専門性をみるための個別面接（冒頭5分で専門性確認シートに基づく自己アピールを行い、その内容を踏まえた面接）、適性検査	300
		専門試験			300
					総合得点：800
Ⅲ種	1次試験	教養試験	120分	公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験 （50題中40題の選択解答制）	200
		専門試験	120分	専門的知識等についての筆記試験 （数学・物理・情報、土木構造設計、土木基盤力学、社会基盤工学、土木施工、測量ほか）	300
	2次試験	人物試験		適性などを見るための個別面接、適性検査	400
					総合得点：900

⑦ よくある質問

よくいただく質問を一挙公開！　あなたの疑問にお答えします。

岩手県人事委員会事務局HP

働く環境

1	Q. 採用直後の**配属先**はどのように決まりますか？	A. 配属先は、勤務地・部署などの希望や適正、家庭状況などを踏まえて決定します。配属先の割合については14ページをご覧ください。
2	Q. **異動**は、どのようなパターンがありますか？	A. 引っ越しを伴う異動もあれば、本庁舎内での引っ越しを伴わない異動もあります。8ページの例も参考にしてください。
3	Q. **休暇**にはどのような種類がありますか？	A. 年次休暇や夏期休暇のほか、出産・育児に関する休暇など多くの種類があります。詳しくは13ページをご覧ください。
4	Q. どのような**服装**で仕事をしていますか？	A. 県庁では、男性はスーツ、女性はオフィスカジュアルで仕事をしている職員が多いです。出先事務所では、作業服を着ている職員が多いです。

インターンシップ等

1	Q. **インターンシップ**は実施していますか？	A. 例年、6～7月頃に申込受付、8～9月頃に実施をしています。ぜひご参加ください。詳しくは岩手県人事課ホームページ　▸ ▸ ▸
2	Q. **OB・OG訪問**はできますか？	A. 技術系職種について実施しています。詳しくは岩手県人事課のホームページでご確認ください。　▸ ▸ ▸

試験制度

1	Q. **募集職種**や**採用予定者数**はいつ分かりますか？	A. 例年、Ⅰ種アピール試験型の春試験は2月、秋試験は8月、専門型・Ⅱ種・Ⅲ種は4月にお知らせしています。詳しくは16ページをご覧ください。
2	Q. 申込から**採用までの流れ**はどのようになっていますか？	A. スケジュールは、16ページを参考にしてください。 https://www2.pref.iwate.jp/~hp0741/annai/index.html
3	Q. **公務員試験対策をしてない人**向けの試験はありますか？	A. Ⅰ種アピール試験型は第1次試験をSPI3で受験できます。詳しくは17ページの「Ⅰ種アピール試験型」の試験内容をご確認ください。

受験にあたって

1	Q. Ⅰ種試験は**大学卒業(見込)者**でないと受験できませんか？	A. Ⅰ種試験は試験の難易度が大卒程度という意味で、年齢要件を満たしていれば、学歴に関わらず受験できます。16ページの概要をご覧ください。
2	Q. 県の採用試験を**複数申し込む**ことは可能ですか？	A. 受験資格を満たし、第1次試験の日程が重ならない試験は併願が可能です。Ⅰ種試験のアピール試験型と専門試験型は、併願が可能です。
3	Q. 受験申込後の**申込内容の変更**は可能ですか？	A. 職種区分や試験会場の変更はできませんのでご注意ください。 そのほかの変更については、人事委員会事務局(019-629-6241)までお問い合わせください。
4	Q. 第1次試験は**どこで受験**できますか？	A. 試験ごとに異なりますので、人事委員会事務局のホームページをご確認ください。なお、Ⅰ種試験アピール試験型の第1次試験の参集は不要です。
5	Q. 試験はどのような**服装**で受験すればよいですか？	A. 第1次試験の服装は自由です。面接試験ではスーツ等(夏季はクールビズ可)で受験してください。

問題・配点

1	Q. 過去の**試験問題は公表**していますか？	A. ホームページの「採用試験の過去問・例題」で公表しています。 https://www2.pref.iwate.jp/~hp0741/selection/answer.html
2	Q. **試験の配点**はどのようになっていますか？	A. 試験ごとに異なります。17ページを参考にしてください。

試験結果

1	Q. **岩手県外出身者**や**転職者**は採用試験に不利ですか？	A. 出身地、職歴の有無等によって、有利・不利が生じることはありません。
2	Q. **試験結果**を教えてもらえますか？	A. 受験者本人に限り成績開示をしています。詳細は、人事委員会事務局のホームページに掲載の受験案内でご確認ください。

共に考え、描き、創る 我が県土 ～ 一人ひとりが主人公、果敢に行動を！～

総合土木

「やりたい」が見つかる　「やりがい」につながる

県土整備部

土木職 岩手県 出身校MAP

（令和７年４月１日現在）

県土整備部土木職 381人

1都 1道 2府 18県



◀◀◀◀ 最新の情報は、
岩手県人事委員会事務局のホームページでご確認ください

岩手県県土整備部の情報はこちらから ▶▶▶

美しい 県土づくりNEWS

岩手県 県土整備部 SNS

【作成】岩手県県土整備部 県土整備企画室
電話：019-629-5846　メール：ag0001@pref.iwate.jp
えーじーぜろぜろぜろいち